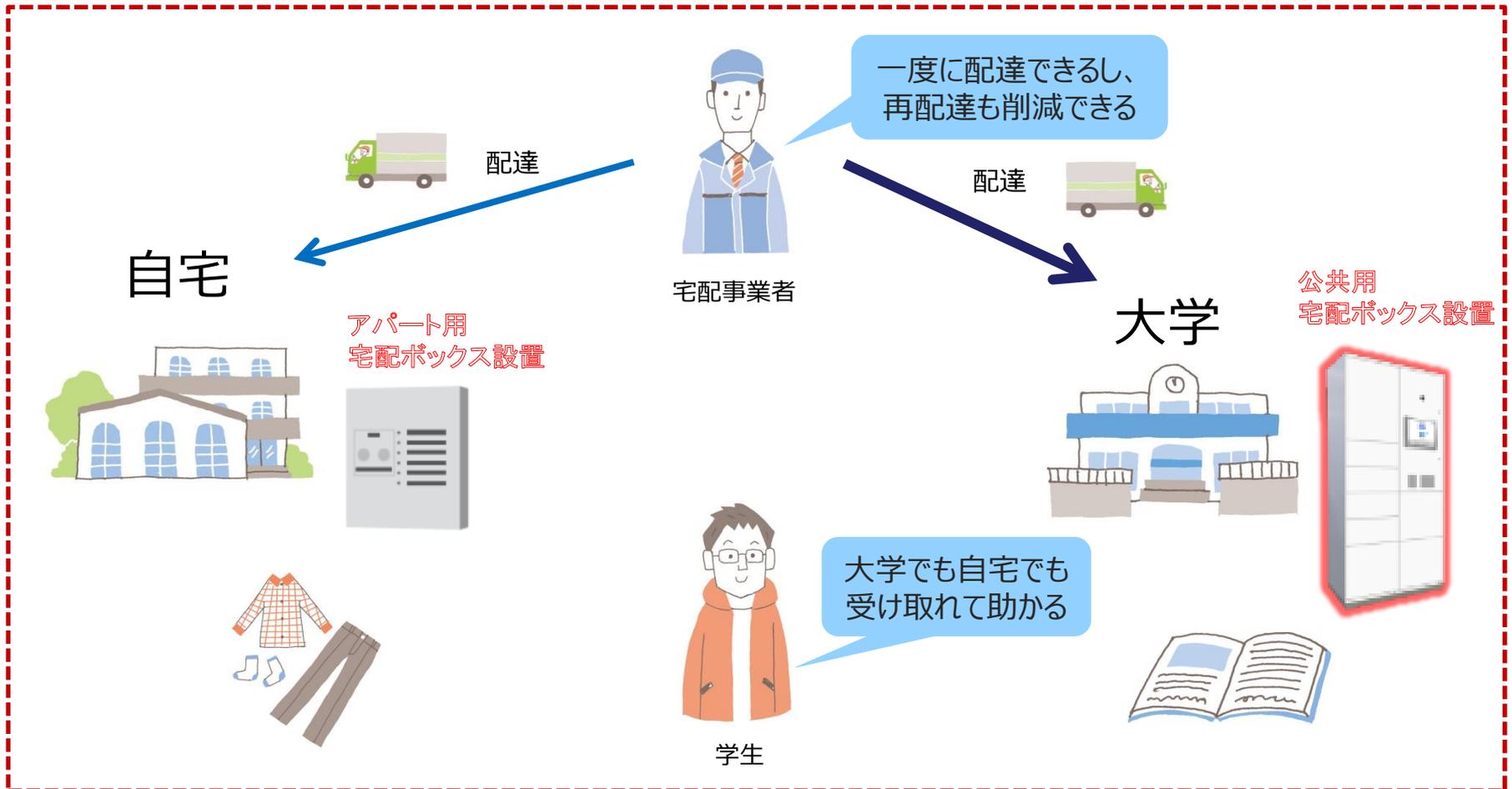


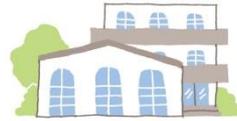
目 的	宅配ボックスの利用実態の把握と再配達削減効果の検証
プロジェクト名	「京（みやこ）の再配達を減らそう」プロジェクト
体 制	主 催：京都市 協 力：パナソニック株式会社、京都産業大学 ヤマト運輸株式会社、佐川急便株式会社、日本郵便株式会社
実施期間	平成29年11月8日～平成30年1月末（予定）
実施場所 （設置場所）	京都市内のアパート（5箇所） 京都産業大学内（1箇所）
実験モニター 選出方法	アパート：宅配ボックスを設置したアパートに在住の学生等の単身者より公募 大 学：京都産業大学 学生、教職員より公募
設置製品	アパート：アパート用宅配ボックス『COMBO-Maison（コンボ-メゾン）』 大 学：公共用宅配ボックス
結果発表	平成30年3月（予定）

アパート用宅配ボックスの設置効果+大学での受渡しも検証

- 宅配事業者：効率的な配達方法の検証
 - 利用者：生活スタイルに対応した受取方法の検証
- 労働環境や環境負荷を軽減したライフスタイルへ



利用実態を把握することにより、
再配達の削減に伴う労働環境や環境負荷軽減効果等を検証



アパート用 宅配ボックス設置

アパート全住民が使用可能。
内、承諾者のみモニターとして
記録作業に協力。

●パナソニック

- ・宅配ボックスの提供及び設置
- ・利用状況の管理
- ・データの収集
- ・問い合わせ対応
- ・保守

●宅配事業者

- ・公共用宅配ボックスへの納品
- ・再配達個数の記録

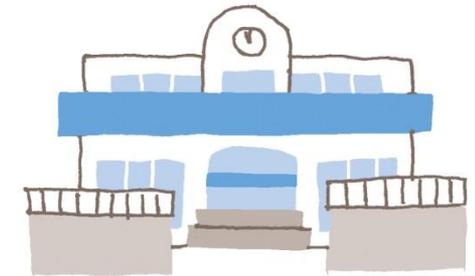


公共用 宅配ボックス設置

学生・先生・職員の方に
配送物受取で使用する
いただきます。

●京都産業大学

- ・設置場所の提供
- ・実験モニターの募集



「大学のまち・学生のまち」京都で、アパートに住む学生の再配達問題を改善したい

まちの課題

家にいないことが多い大学生たちが集まる学生街は、再配達のレッドゾーン
再配達をするために、宅配業者は何度も住宅街の道を往復しなければならず、
「再配達ストレス」および「宅配業者の過労働」「CO2排出」が課題となっている

自治体・京都市

人にやさしく
環境にやさしい
まちづくりを
目指す。

民間企業・パナソニック

あわら市での
実績をもとに
さらなる貢献を
目指す。

産学公連携で まちの課題を 多角的に実証実験

宅配事業・ヤマト運輸／佐川急便／日本郵便

将来を担う学生たちが
社会問題化した再配達削減の
実証実験に協力

大学・京都産業大学